



令和3年度文化庁芸術祭参加公演

第7回山本亜美二十五絃箏リサイタル

佇むさきに

2021年10月21日(木)

開場 18:30 開演 19:00

MUSICASA

ゲスト 中井智弥(低二十五絃箏)



「橋をわたって 二十五絃箏版」

高橋悠治作曲

「リバーブレーション」

森亜紀作曲

「二十五絃箏甲乙奏合 交響譚詩」

伊福部昭作曲

「こころの詩」

高橋久美子作曲

後援 邦楽ジャーナル 大阪ことこと倶楽部 ことこと倶楽部ふくしま

助成 公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京 ARTS COUNCIL TOKYO

佇むさきに

リサイタルシリーズ第7回目となります。

現代音楽を表現するために1991年に創作された「現代の箏」、二十五絃箏。

30年の時を経て、日本の伝統楽器というジャンルにとどまらない多絃楽器として、独自の音楽性が広がっている。

日頃の活動では、二十五絃箏でなければできない音楽表現、独自の音楽世界とは…と自問している。新たな作品を生み出す事を一つの目標としてきたリサイタルシリーズだが、本公演では初めて開催した二十五絃箏リサイタルの地である「MUSICASA」にて、当時と同じ作品やこれまでの委嘱作品より森亜紀・高橋久美子両氏の作品と共に少し原点回帰を試みる。

佇むさきに見える、“光”を探して。



©TOMOKO HIDAKI

山本亜美 Tsugumi YAMAMOTO (二十五絃箏)

箏、三絃を幼少より狩谷章子氏に師事。文化庁新進芸術家国内研修生として、二十五絃箏の箏曲家野坂操壽氏に師事。その後、主に二十五絃箏奏者として活動している。二十五絃箏ソロアルバム「つむぐ」、「きざし」(ALM/文化庁芸術祭参加)をリリース。毎年リサイタルを開催し、井上鑑・沢田穠治・高橋久美子、田口和行、森亜紀、野村誠氏等に委嘱。ジャンルを超え、様々な作曲家に新作を依頼し発表している。現代音楽、即興演奏、またポップスなどノンジャンルで幅広く関わり、箏と自身との一体化を常に念頭に、国内外において二十五絃箏の魅力を伝え、可能性を探り続けている。

ゲスト 中井智弥 Tomoya NAKAI (低二十五絃箏)

東京藝術大学音楽学部邦楽科卒業。伝統的な箏や地歌三絃の演奏も行いつつ「二十五絃箏」の演奏をメインに活動。NHKEテレ「すごいぞにっぽん! 古典芸能・最新形」等に出演。2016年三重県文化奨励賞受賞。これまでソロアルバム6枚リリース。海外公演では外務省や大使館等のイベントにて文化交流を担う。2018年日本・スウェーデン外交関係樹立150周年記念イベントに出演しオープニングコンサートを飾る。

<http://www.tomoyanakai.com/index.html>



2021年10月21日(木)

開場18:30 開演19:00

チケット 4,000円

お問い合わせ amisound

電話 090(6027)0422

メール amisound1725@gmail.com



【予約者名】【人数】【電話番号】
【チケット送付先】をお伝え下さい。
QRコードからもご予約いただけます。

「橋をわたって 二十五絃箏版」

高橋悠治作曲

「リバープレーション」

森亜紀作曲

「二十五絃箏甲乙奏合 交響譚詩」

伊福部昭作曲

「こころの詩」

高橋久美子作曲

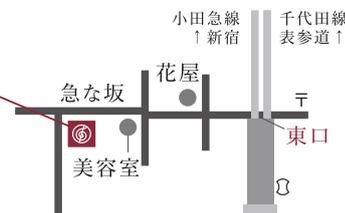
MUSICASA (ムジカーザ)

東京都渋谷区西原3-33-1

代々木上原駅 東口 徒歩2分

会場に駐車場はございません。

近隣のコインパーキングをご利用ください。



代々木上原駅 改札